

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和5(2023)年度の主な推進内容

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

(1)しごとと環境の創出

1. 計画的な工業団地の整備
2. 企業誘致活動の推進
3. 雇用の確保と安定化
4. 創業・事業承継の促進
5. 魅力ある商店づくり

(2)地域産業の活性化

1. 市内企業の成長支援
2. 商品開発・販路開拓の支援

(3)農林業の活性化

1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 林業後継者の育成
4. 林業振興と林業生産基盤の整備

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

(1)シティブランディングの推進

1. 理念・方針等の周知啓発
2. 推進体制の整備・活動支援

(2)移住・定住の促進

1. 移住・定住の促進

(3)観光の振興

1. 観光客誘致活動の推進
2. 観光拠点機能の充実

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援

(2)安心して子育てができる環境整備

1. 子育て支援サービスの充実
2. 青少年保護活動の充実

(3)特色ある教育の充実

1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
2. 学校・地域との連携の推進

(4)教育研究・相談機能の充実

1. 教育研究・研修の充実
2. 教育相談の充実

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

1. 地域防災力の向上
2. 地域包括ケアの推進
3. 介護予防・重度化防止の推進
4. 生活習慣病予防の推進
5. 生活習慣病の重症化予防

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

1. 持続可能な都市の形成
2. 中心市街地活性化の推進
3. 歴史まちづくりの整備
4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
5. 温暖化対策の推進
6. スポーツ施設の充実
7. 公共施設マネジメントの運営
8. 用途廃止後の施設の有効活用

(3)地域連携の推進と交通基盤の整備

1. 地域連携の推進
2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
3. 幹線道路の整備
4. 鉄道利用の促進
5. バス交通網の充実

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

基本的方向

魅力ある雇用を創出し、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、企業誘致を推進するとともに、既存企業の成長を支援します。

また、創業や事業承継につながる取組を推進するとともに、豊かな自然環境や地域固有の資源を生かした農林業振興を図ります。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 目標値	単位
有効求人倍率 (毎年3月)	目標値		1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	倍
	実績値	1.24	1.12	1.61				

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する①

施策の方向性

(1)しごと環境の創出

施 策

- 1. 計画的な工業団地の整備
- 2. 企業誘致活動の推進
- 3. 雇用の確保と安定化
- 4. 創業・事業承継の促進
- 5. 魅力ある商店づくり

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
桐生武井西工業団地の 雇用者数【延べ】	目標値		225	250	275	300	320	人
	実績値	—	203	216				
創業支援等事業計画に 基づく創業者数	目標値		40	40	40	40	40	人
	実績値	27	34	41				

R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 桐生武井西工業団地完売後の新たな工業団地整備に向けた県との具体的な協議の実施
- 本市が持つ強みや魅力を生かした企業誘致活動の展開、立地企業への適切なフォローアップの実施
- 桐生公共職業安定所や桐生地区勤労対策協議会等と連携した「合同企業説明会」や「高校生就職ガイダンス」の実施
- 中小企業の経営者や従業員が受講した費用の一部を助成する「中小企業人材養成事業」の継続及び制度周知
- 桐生市インキュベーションオフィスを活用した創業支援やインキュベーションマネージャーによる創業相談・経営指導を実施するとともに、新たに開設したシェアオフィスの利用を促進
- 「まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業補助金」により、中心市街地における事業承継を伴う既存店舗の改修を支援
- 桐生商工会議所、桐生信用金庫、群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社バトonzと連携した事業承継に関する支援の実施
- 「空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」を活用した新規出店や創業の促進
- 「地域店舗買物促進事業補助金」により、商店街団体等が実施する地域での買物促進につなげる取組を支援



桐生武井西工業団地



東武桐生ビル2階にオープンした「シェアオフィス1000（せん）」



基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する②

施策の方向性

(2)地域産業の活性化

施 策

1. 市内企業の成長支援
2. 商品開発・販路開拓の支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
従業者1人当たりの製造 品出荷額	目標値		2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	万円
	実績値	2,583 (2017年度)	2,436	-(※ ¹)				
販路開拓支援による展 示会等における商談成 約件数	目標値		140	140	140	140	140	件
	実績値	114	51	78				

※¹ 経済産業省「工業統計調査」が2020年度をもって廃止となり、2021年度は調査未実施のため把握不能（2022年度からは「経済構造調査」に包摂されて実施）

R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 工場アパートの維持管理や各種支援等を通じて入居企業の成長を促進
- 国内外で開催される展示会への出展補助を継続するとともに、国際見本市「東京インターナショナルギフトショー」へのブース設置や「ビジネスマッチングフェア」の開催などを通じて国内外への販路開拓を支援
- 群馬県と連携し新技術や新市開発の経費の一部を補助する「桐生市ぐんまDX技術革新補助金」や、北関東産官学研究会の「産学官共同研究助成事業」への支援などを通じ、市内企業の新製品や新技術の開発を支援
- ファッションを専門的に学ぶ学生と繊維関連事業者との交流事業への支援や、ものづくりの現場を実際に見学・体験できるオープンファクトリーへの補助を継続
- 各繊維関連団体や桐生地域地場産業振興センターと連携した販路開拓や桐生ブランドの定着等の推進

工場アパート



東京インターナショナル・ギフト・ショー

ビジネスマッチングフェア



桐生テキスタイルプロモーションショー

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する③

施策の方向性

(3)農林業の活性化

施 策

1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 林業後継者の育成
4. 林業振興と林業生産基盤の整備

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
認定農業者数【延べ】	目標値		119	120	121	122	123	経営体
	実績値	117	123	113				
林業従事者数【延べ】	目標値		64	64	64	64	64	人
	実績値	64	51	49				

R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 「経営開始事業補助金」や「農業後継者育成事業補助金」を通じた新規就農者や親元就農者など担い手の確保・育成
- 農業者等の経営規模の拡大と所得の安定を図るため、農業者等の経営発展に向けた機械や設備の導入を支援
- 地域計画の策定に向けた活動に取り組み、優良農地の確保と認定農業者等担い手への農地集積・集約化を推進
- 農産物の生産拡大を図るため、「野菜王国・群馬総合対策事業補助金」や「はばたけ・ぐんまの担い手支援事業補助金」などを活用した野菜などを栽培するための施設・設備の設置を推進
- 新里地区において生産が拡大しつつある酒米生産組合に対し新たな支援を開始するなど、6次産業化に向けた農業者等の取組を促進
- 交流人口の増加や将来的な林業就業者の増加に資する取組として、みどり市と連携した林業体験イベント等を実施
- 本市の豊富な森林資源の積極的な整備を推進するため、桐生市産木材から作製した製品を婚姻届けを出した夫婦に御祝い品として贈呈するとともに、林業機械の修繕等に対する補助制度を創設



新里町地域おこし協力隊（隊員は中央）



基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

基本的方向

恒常的に続く若年層の流出に歯止めをかけるため、桐生がより多くの人から選ばれるまちになることを目指し、まちの価値を高めるシティブランディングを推進するとともに、桐生での暮らしを応援する様々な施策を講じます。

また、交流人口や関係人口の拡大による市内経済の活性化を目指し、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
社会増減数	目標値		295	285	280	275	270	人減
	実績値	394	472	560				

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す①

施策の方向性

(1) シティブランディングの推進

施 策

- 1. 理念・方針等の周知啓発
- 2. 推進体制の整備・活動支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
人口総数に対する転出者の割合	目標値		2.90	2.80	2.70	2.60	2.50	%
	実績値	3.02	2.87	2.85				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- SNSなど多様化する情報媒体を有効活用し、効果的なメディアプロモーションを展開するための専門的な知見を有する「桐生市メディアプロモーション戦略監」を新たに登用
- 本市の認知度向上やイメージアップを図るため、本市に縁（ゆかり）があり、様々な分野で活躍し、市内外に広く影響力を有する著名人等を「（仮称）桐生魅力大使」に任命
- 地域への関心喚起や郷土愛の醸成を図る中で本市の魅力や評価を高めるため、学生や事業者、市民団体など、民間主導でのシティブランディングに資する取組を支援する補助制度を新たに設置



桐生市シティブランディング戦略



令和4年度に株式会社BS日本との連携により開設した「ニッポンの神業ミュージアム」



「桐生市メディアプロモーション戦略監」としてBS日本の芦澤英祐氏を登用



学生団体Yieldが運用するInstagram「桐生CHARM」

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す②

施策の方向性

(2)移住・定住の促進

施 策

1. 移住・定住の促進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
移住・定住に関する相談 件数	目標値		172	172	172	172	172	件
	実績値	172	179	128				
空き家・空き地バンクの 成約件数	目標値		44	44	44	44	44	件
	実績値	44	41	42				

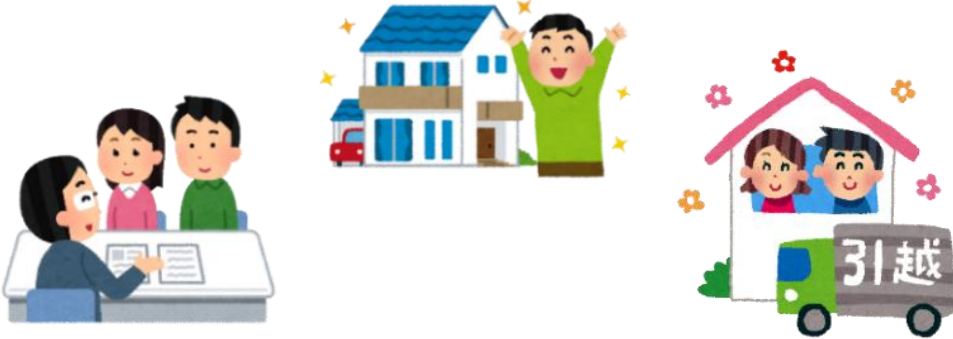
R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 起業や店舗開業などを目指す移住希望者をメインターゲットとして、移住希望者の不安を取り除き、更には移住の意向を高めるとともに、まちの賑わい創出や地域コミュニティの活性化を図るため、「（仮称）移住・定住に関するワンストップ窓口」を設置
- 「きりゅう暮らし応援事業」の中心である「住宅取得応援助成」において、'移住加算'や'子ども加算'、'空き家・空き地バンク加算'を増額するとともに、東京圏からのUターンを対象とする'若者Uターン移住加算'、転入者の電車での通勤を支援する'通勤加算'を新設
- 「きりゅう暮らし応援事業」の「空き家利活用助成」において、'移住加算'や'子ども加算'、'空き家・空き地バンク加算'を増額し、空き家の利活用を促すとともに、市外からの転入を促進
- 東京圏からの移住者を対象とした「桐生市移住支援補助金」を拡充するなど、移住に重点を置いた見直しを行うことで、市外からの転入を促進
- 住居環境の改善により快適な暮らしを創出するため「住宅リフォーム助成」の予算を増額し、“きりゅう暮らし”を応援
- 移住・定住に関する施策を総合的に推進する「移住定住推進室」を共創企画部企画課内に新設



移住推進パンフレット
「きりゅうで暮らす」



空き家見学会の様子

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す③

施策の方向性

(3)観光の振興

施 策

- 1. 観光客誘致活動の推進
- 2. 観光拠点機能の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
観光入込客数	目標値		4,189,400	4,273,000	4,273,000	4,273,000	4,273,000	人
	実績値	4,078,400 (2017年度)	1,685,900	2,501,900				
観光消費額	目標値		4,994,711	5,094,605	5,196,497	5,300,426	5,406,434	千円
	実績値	4,849,234 (2017年度)	1,434,916	1,904,778				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 東武鉄道及び沿線自治体との連携により、首都圏からの誘客促進を図るとともに、前橋市、渋川市、みどり市など赤城山周辺の自治体との連携により、赤城エリアの自然環境と地域資源を活用しながら地域の魅力を発信する事業を継続
- 未来創生塾の塾生を対象とした「日本遺産講座」を引き続き実施するとともに、そこで認定を受けた‘ジュニアアンバサダー’による観光案内を継続して実施
- 八王子市で開催される「日本遺産フェスティバル i n 桑都・八王子」に参加し日本遺産での連携強化を図るとともに、近隣の館林市、足利市と引き続き連携する中で、日本遺産のPRを実施
- 桐生市観光情報センター「シルクル桐生」において、観光・物産情報の発信拠点として活動していくため、引き続き一般社団法人桐生市観光物産協会への支援を行い、まちなかの周遊促進と賑わい創出を推進
- 桐生新町重伝建地区の顔となる「(仮称)重伝建地区公開活用施設」の保存修理工事を実施
- 未来へはばたけ山田製作所桐生が岡動物園が開園70周年の記念すべき年を迎えることから、更なる魅了向上に努め、来園者の増加につなげるため、動物の健康維持に大切な動物診療所、カピバラ舎及びサル山の改築に向けた設計に着手



シルクル桐生



未来創生塾「日本遺産講座」の様子



未来へはばたけ山田製作所動物園のカピバラ

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

基本的方向

少子化の流れに歯止めをかけるため、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実するとともに、安心して子育てができる環境を整備します。

また、桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、感性を育む特色ある教育の充実を図るとともに、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
合計特殊出生率	目標値		1.46	1.47	1.48	1.50	1.51	—
	実績値	1.13 (2017年度)	1.09	1.09				

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる①

施策の方向性

(1)結婚・妊娠・出産・育児の
切れ目ない支援の充実

施 策

1. 結婚・妊娠・出産・育児の
切れ目ない支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市が支援する婚活イベント等におけるカップル成立数	目標値		29	30	31	32	33	組
	実績値	27	3	0				
産後1か月頃の母親が回答する「エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）」の結果が9点以上の母親の割合	目標値		調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	%
	実績値	3.6	5.8	7.6				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで身近に相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実させるとともに、経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援事業」を実施
- 産後うつなど精神的負担の軽減を図ることで、産後間もない母親の良好な健康につなげるため、今まで実施していた産後2週間健診に加え、産後1か月健診を新たに追加
- 発達障害や不登校等の子育てを経験したメンター（助言者）に相談できる機会を創出する「メンター事業」を新たに開始し、子どもの発達等に不安を抱える保護者の負担を軽減し、安心して子育てを行うことができる環境の整備を推進
- 問題が表面化しづらいヤングケアラーを把握するため、小・中・義務教育学校において毎月実施している学校生活に関するアンケートにより、継続して把握
- 研修会や広報など周知啓発を行い、ヤングケアラーに周囲が気づき、関わりを持つことができる環境整備を推進
- 中学校3年生と高校3年生におけるインフルエンザの発病や重症化を予防することで、受験を控えた年代の不安解消につなげるため、インフルエンザ予防接種費用の一部助成を開始
- ヒトパピローマウイルスが原因で男性でもかかる中咽頭がん、肛門がん等の予防や、男女間での感染を防ぐため、女性の定期接種対象者と同様、小学校6年生から高校1年生までの年代の男性を対象としたHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）接種費用の全額助成を開始



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる②

施策の方向性

(2)安心して子育てができる
環境整備

施 策

- 1. 子育て支援サービスの充実
- 2. 青少年保護活動の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
1歳児を持つ母親への問診票の設問「育児は楽しいですか」に対し、「はい」と回答した母親の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	90.0	90.1	94.1				
ネット見守り活動委員会の会員数【延べ】	目標値		275	285	295	305	315	人
	実績値	275	277	313				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 放課後児童クラブの「第3子以降の保育料無料化」を継続
- ファミリーサポートセンター事業について、病児・病後児の預かりや早朝・夜間の預かりなど多様なニーズに対応できるよう、事業を引き続き推進するとともに、事業の担い手である協力会員を安定的に確保できるよう、協力会員募集の周知や講習会を実施
- 子育て支援センターを中心に各保育園等に配置されている地域子育て支援センターとの密な連携による保護者支援の充実
- 子育て世代の交流を図りながら、子育てに対する不安の解消を図るため、屋内遊戯場における各専門職による相談業務の充実
- SNS等に起因する事件やトラブルから子どもたちを守るため、ネット見守り活動の更なる充実と早期からの情報モラル教育を推進



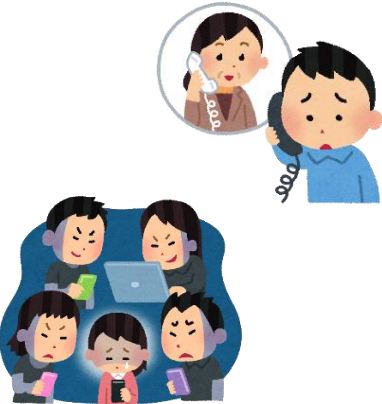
放課後児童クラブ



「ママ&パパ教室」の様子



屋内遊戯場キピーランド



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる③

施策の方向性

(3)特色ある教育の充実

施 策

- 1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
- 2. 学校・地域との連携の推進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
学校評価アンケートの「特色ある教育活動」に関する設問に対し、“満足”と回答した保護者の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	87.0	89.0	89.0				
学校評価アンケートの「学校の授業の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した児童・生徒の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	86.0	88.0	86.0				
放課後子供教室の設置数【延べ】	目標値		8	11	14	17	17	か所
	実績値	2	8	11				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 昨年4月に黒保根地区に義務教育学校として開校した「桐生市立黒保根学園」の英語教育の一層の充実を図るとともに、“コミュニティ・スクール”として、地域と一体となった学校づくりを引き続き推進
- 「サイエンスドクター事業」において、中・義務教育学校でのプログラミング教育の強化を図るとともに、学校への訪問に加え、リモートによる学習支援を継続
- 小学校に配置したALT（外国語指導助手）を活用し、幼稚園における外国語に触れる時間の創出や小学校での外国語授業の一層の充実を推進
- 職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう」をより充実させて実施
- 放課後子供教室を新たに3つの小学校内へ設置し、市内全小学校・義務教育学校の17校で実施
- 産官学民が連携して取り組む特別教育プログラム「未来創生塾」への支援を継続



サイエンスドクター事業



子どもがつくるまち ミニきりゅう



放課後子供教室



未来創生塾

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる④

施策の方向性

(4)教育研究・相談機能の充実

施 策

- 1. 教育研究・研修の充実
- 2. 教育相談の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、“満足”と回答した教職員の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	－	98.0	91.0				

R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 教職員の資質向上に努めるため、教育研究所において、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した指導のあり方に関する研究や、ICTの効果的な活用方法に関する研究を実施
- 桐生ならではの特色ある教育を推進するとともに、教育研究所等の既存教育施設の機能を集約し、教育基盤の充実を図るため、旧西中学校跡を利用して「（仮称）総合教育センター」の整備を開始
- いじめや不登校への対応に向け、電話相談や来所相談、園・学校訪問等による教育相談や、家庭・学校・関係機関等との連携による学校復帰及び社会復帰を目指した適応指導教室の充実を推進



桐生市立教育研究所



旧西中学校



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

基本的方向

「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化を図るため、誰もが活躍でき、安全・安心に暮らすことのできる環境づくりを進めるとともに、コンパクトシティや歴史まちづくりなど、本市の特徴に応じたまちづくりを進めます。

また、広域的な視点で様々な分野において地域連携を推進し、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めます。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市民の声アンケートの 設問「桐生市は住み 続けたい生活の場 としての住環境が整っ ている。」に対する市 民実感度	目標値		－	調査の都度向上	－	調査の都度向上	－	%
	実績値	26.2 (2019年度)	－	26.0	－		－	

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり①

施策の方向性

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

施 策

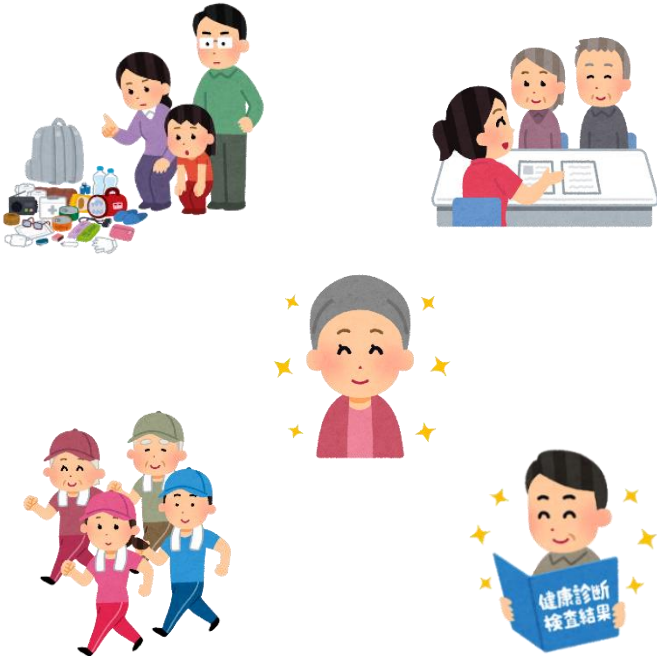
- 1. 地域防災力の向上
- 2. 地域包括ケアの推進
- 3. 介護予防・重度化防止の推進
- 4. 生活習慣病予防の推進
- 5. 生活習慣病の重症化予防

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
防災に関する出前講座・講演会の参加者数	目標値		420	450	480	500	520	人
	実績値	400	42	97				
認知症サポーター数【延べ】	目標値		16,500	17,500	18,500	19,500	20,500	人
	実績値	14,545	16,658	17486				
介護予防教室の参加者数	目標値		480	490	500	500	500	人
	実績値	463	267	249				
健康寿命（男性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	78.10 (2016年)	78.56 (2018年)	78.75 (2019年)				
健康寿命（女性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	82.05 (2016年)	82.13 (2018年)	82.65 (2019年)				

R5（2023）年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 地域や自主防災組織、避難所運営委員会等の活動を引き続き支援するとともに、住民の安否確認を迅速に行うための「災害時安否確認バンドナ」を、桐生産手ぬぐいを活用して新たに導入するなど、防災意識の高揚や地域防災力の向上を推進
- 65歳以上の高齢者を対象に、ICTを活用した24時間対応の見守りシステムの利用助成を新たに開始し、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを推進
- いつまでも生活しやすい環境、住み慣れた家で自立した生活を送れるよう、介護予防・日常生活支援サービス事業の充実を推進
- 介護保険サービスが適用されない39歳以下の若年がん患者の在宅療養費の一部助成を開始し、患者とその家族の負担軽減を図ることで、住み慣れた自宅での療養を支援
- 市民全体の健康増進や健康寿命の延伸を図るため、健康への興味を喚起しつつ、楽しみながら健康づくりができるインセンティブとして、「きりゅう健康ポイント事業『100点チャレンジ』」において「桐ペイ」を活用したポイント付与を新たに開始
- 特定保健指導の利用の申し込みがない方に、健診結果を基に個人の健康状態を点数化した個人帳票「健康スコア」を送付して利用勧奨を行い、利用率を向上させることで被保険者の健康増進を推進



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり②

施策の方向性

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

施 策

- 1. 持続可能な都市の形成
- 2. 中心市街地活性化の推進
- 3. 歴史まちづくりの整備
- 4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
- 5. 温暖化対策の推進
- 6. スポーツ施設の充実
- 7. 公共施設マネジメントの運営
- 8. 用途廃止後の施設の有効活用

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
中心市街地の空き店舗率	目標値		18.8	18.6	18.4	18.2	18.0	%
	実績値	19.0	19.8	17.0				
歴史的風致形成建造物の指定件数【延べ】	目標値		6	9	12	15	18	件
	実績値	3	8	11				
市の事務・事業から排出される温室効果ガスの排出量	目標値		33,508	33,164	32,819	32,475	32,130	t-CO ₂
	実績値	34,197	27,214	33,812				
公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数【延べ】	目標値		23	23	23	23	23	計画
	実績値	0	0	0				

R5 (2023) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 「桐生市歴史的風致維持向上計画」に基づいて、桐生新町重伝建地区を核とした桐生の歴史・伝統・文化を継承していくとともに、桐生が岡動物園・遊園地からまちなかに人の流れを呼び込むため、桐生が岡公園の藤棚広場と重伝建地区周辺の市道的美装化整備を実施
- 重伝建地区の来訪者の利便性向上のため、公衆トイレ整備を実施
- 桐生新町重伝建地区の顔となる「（仮称）重伝建地区公開活用施設」の保存修理の完成を目指すとともに、同地区住民と行政との橋渡し役として「重伝建コーディネーター」を新たに配置
- 国際的な動向等を踏まえ、温室効果ガス排出削減に努めるとともに、「桐生市環境先進都市将来構想」の実現を目指し“ゆっくりズムのまち桐生”の具現化などを推進
- 市民や市内企業の環境意識の高揚やエネルギーの効率的な利用促進を目的に、新エネ・省エネ設備や電動アシスト自転車の購入費用の一部補助を引き続き実施
- 球都桐生プロジェクト推進協議会を発足し、「東京六大学野球オールスターゲーム」開催のほか、野球をテーマにした公民連携によるまちづくりを推進
- 桐生球場のスコアボードを改修するとともに、8月に行われる東京六大学野球オールスターゲームに間に合うように運動公園内の歩道の一部の改修を行うほか、相生庭球コートの防風ネット設置工事等を実施
- 清掃・斎場・し尿・常備消防の4つの共同事業施設について、みどり市との協議が開始されることから、その協議結果を踏まえる中で、各施設の具体的な管理の方向性を定める「桐生市公共施設等総合管理計画」の個別計画を施設類型別に策定
- 水道局の移転先となる旧昭和小学校について、関係課と調整を行いながら改修に向けた設計を実施



（仮称）重伝建地区公開活用施設イメージ



小倉クラッチ・スタジアム（桐生球場）



旧昭和小学校

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり③

施策の方向性

(3)地域連携の推進と交通基盤の整備

施 策

- 1. 地域連携の推進
- 2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
- 3. 幹線道路の整備
- 4. 鉄道利用の促進
- 5. バス交通網の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
広域連携事業数	目標値		61	63	65	67	69	事業
	実績値	59 (2017年度)	64	65				
都市計画道路の整備率【延べ】	目標値		47.5	47.6	47.7	47.8	47.8	%
	実績値	47.2	47.7	47.8				
市内17駅の1日平均乗降者数	目標値		14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	人
	実績値	14,673	10,408	11,691				
人口1人当たりのバス交通の年間利用回数	目標値		3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	回
	実績値	3.55	2.53	2.15				

R5（2023）年度の主な推進内容

- みどり市と緊密に連携し、市民が最大限メリットを享受できるよう連携を推進するとともに、「桐生・みどり未来創生会議」を継続して設置
- 高速道路網を利用した首都圏や沿線地域との広域的な連携の強化を図るため、北関東自動車道へのアクセス道路となる県道太田桐生線バイパス整備や渡良瀬幹線道路整備を推進
- 利便性の向上を図るとともに、子ども、高齢者、障がい者など誰もが安全で安心して快適に暮らせるよう、赤岩線や錦琴平線整備をはじめ、既存生活道路の舗装長寿命化や桐生大橋長寿命化、新里駅周辺の歩道整備などを計画的に推進
- 本年度に策定する「桐生市交通ビジョン」において、群馬県の取り組む調査や法定協議会との整合を図る中で、将来にわたって鉄道やバスの利用促進を図っていける施策の方向付けを実施
- わたらせ渓谷鐵道及び上毛電気鐵道について、令和5年度を初年度として策定した5か年の再生基本方針に基づき、安定した運行を確保するための支援を行うとともに、新型コロナウイルスの影響で利用者離れの状況にある鉄道の利用促進や沿線経済の活性化に向けた取組を関係自治体と協調する中で推進
- 公共交通の利用に対する意識醸成を図るとともに、旧桐生地区や新里地区から鉄道を利用して黒保根学園へ通学する需要に応えるため、公共交通を利用し、市立の小・中・義務教育学校に通学する児童・生徒の保護者に、通学費定期代を全額補助する制度を創設
- おりひめバスについて、安心して利用できる体制を整えるため、バス車両を更新するとともに、合理的で利便性の高い運行ルートを確認するため、乗降者数等の状況や利用者・地域の意見等を踏まえた見直しを順次実施
- 利用者によりやさしい公共交通を目指すため、客観的な視点での御意見をいただくことで、運転士の接遇等の改善を図る「おりひめバスモニター制度」を新たに開始



錦琴平線



わたらせ渓谷鐵道



おりひめバス